

研究開発組織を変革する3つのアプローチ

～「テーマ」・「R&D 活力」・「戦略」を変える～

— 講師 —

株式会社日本能率協会コンサルティング シニア・コンサルタント 木村 壽男 氏

日時 2026年8月28日(金) 午後1時～4時30分
 受講方法 会場受講/ライブ配信/アーカイブ配信(2週間、何度でもご視聴可)
 会場 SSK セミナールーム 東京都港区西新橋2-6-2 ザイマックス西新橋ビル4F

〔開催趣旨〕

研究開発(R&D)組織には企業成長エンジンとしての大きな期待が寄せられています。しかしながら、その期待に十分に込められている組織は少数派です。逆に、「わが社の研究所から近年、新規事業や革新的技術が生まれていない」、「事業部の期待にR&D部門はスピーディーに対応してくれない」といった指摘をよく耳にします。

本セミナーでは、R&D組織を「生産性」と「R&D 活力」の2つの視点で客観的に診断し、その結果を踏まえて未来志向で変革していくアプローチ(3つ)について、基本的な考え方と具体的な進め方を、他社事例を含めて詳説いたします。

1. テーマ構造改革: $[\Sigma(\text{「テーマ価値」} \times \text{「成功確率」}) \div \text{投資}]$ の最大化
2. R&D 活力革新: 「R&D 活力診断」の活用
3. 戦略の再構築: 組織の存在意義・価値の再定義と事業戦略の主導

〔修得知識〕

1. Static R&D から Dynamic R&D への変革の必要性とその概要
2. テーマ創造と同評価システム再構築—「FVE(Future Value Evaluation: 未来価値評価法)」など
3. 自社 R&D 組織の現在地の特定と、着手すべき変革の優先順位づけ
4. 事業戦略をリードする R&D 戦略の考え方と作り方

〔受講対象者〕

- ・研究開発担当役員、研究開発部門長(研究所長他)
- ・研究室長・開発リーダー
- ・経営企画・研究企画スタッフ

〔プログラム〕

1. 研究開発組織を取り巻く経営環境
 - ・マクロ環境の悪化(科学技術力、その基盤となる経済力など)
 - ・ミクロ環境の厳しさ(R&D 投資の伸び悩み、経営者の期待水準への未到達など)
 - ・組織の硬直化(事業戦略との乖離、研究者のモチベーション低下など)
2. 研究開発組織の目指すべき方向性とは
 - ・経営成果、KPI でいえば「R&D 生産性」の飛躍的向上
 - ・技術を核とした新規事業創造や革新的技術創造による新たな成長軌道づくり
 - ・低成果・不活性の「Static R&D」から、高成果・成長志向の「Dynamic R&D」へ
3. 先進企業の事例
 - ・日立製作所: DX 基盤「Lumada」による事業構造変革
 - ・中外製薬: 独自技術を核とした、継続的な新薬創製による高収益化
 - ・富士フイルム: ヘルスケア等の新規事業による新たな企業成長
4. R&D 組織診断の四象限—象限ごとの変革アプローチの違い
 - ・「成長加速型(理想型)」: 生産性・活力ともに良好
 - ・「自己満足型」: 活力はあるが生産性が低い(テーマ変革が必要)
 - ・「疲弊型」: 生産性は高いが活力が低い(活力革新が必要)
 - ・「混沌型」: どちらも低く、組織再生が必要
5. 【変革1】「テーマを変える」(テーマ構造改革)
 - ・既存の R&D テーマ評価法の概要と課題
 - ・「FVE 法」による評価システムの再構築
 - ・新たなテーマの創造
6. 【変革2】「R&D 活力を変える」(組織活力革新)
 - ・7つの要素による「R&D 活力診断」
 - ・組織変革シナリオの作成と実践
 - ・R&D 活力革新の組織展開
7. 【変革3】「戦略を変える」(戦略の再構築)
 - ・今求められる R&D 戦略の基本コンセプト
 - ・R&D 戦略再構築の進め方
 - ・“成長加速型”戦略と“組織再生型”戦略の違いと策定ポイント
8. R&D 組織変革の実践手順例
9. 質疑応答/名刺交換

PROFILE 木村 壽男(きむら ひさお)氏

京都大学農学部食品工学科を卒業した後、企業内研究者を経て、現在は(株)日本能率協会コンサルティング シニア・コンサルタント。「技術
を核とした経営革新」をメインテーマとし、技術戦略、研究開発・新製品開発マネジメント分野を中心としたコンサルティング、研修、セミナー・
講演を行っている。

- ・2004～2013年 京都大学 産官学連携フェロー
 - ・2010～2015年 青山学院大学大学院理工学研究科・非常勤講師(研究開発特論)
 - ・2013年 北陸先端科学技術大学院大学 知識科学修士課程修了
- 代表図書に「研究開発を変える」(同友館、2020年)、「研究開発は成長戦略エンジン」(同、2015年)がある。

●受講料	各受講方法 1名につき 34,210円(税込) 同一のお申込フォームよりお申込の場合、2人目以降 27,500円(税込) ※会場又はライブ配信受講者様で、アーカイブ配信もご希望の場合は追加料金11,000円(税込)で承ります。
●お申込方法	二次元バーコード、又は FAX にてお申し込み下さい。 折り返し受講証、請求書、会場地図(会場受講のみ)をメール(PDF)にてお送りいたします。 お申込み後、3営業日以内にお手元に届かない場合は必ずご一報下さい。 (セミナー会場にて受講される方は受講証画面を提示、もしくはプリントアウトしてご持参ください) ※お客様のご都合でキャンセルされる場合は、「開催1週間前まで」にお申し出下さい。 その後のキャンセルは、お申し受けできませんのでご了承下さい。
●お支払方法	請求書を発行いたしますので、開催日までに銀行振込でお願いします。(遅れる場合はご相談下さい)

事前に、セミナー講師へのご期待、ご要望、ご質問をお受けしております。
可能な限り講義に盛り込んでいただきますので、お申し込み後、弊社からご連絡するメールにご返信ください。

■ライブ配信について
 <1> Zoom にてライブ配信致します。
 <2> お申込時にご登録いただいたメールアドレスへ視聴用 URL と ID・PASS を開催前日までに送り致しますので、
 開催日時に Zoom へご参加ください。

■アーカイブ配信について
 <1> 開催日より3～5営業日後を目安に Vimeo にて配信致します。
 <2> お申込時にご登録いただいたメールアドレスへ収録動画配信のご用意ができ次第、視聴用 URL をお送り致します。
 <3> 動画は配信日より2週間、何度でもご都合の良い時間にご視聴頂けます。

8月28日(金) 「研究開発組織を変革する3つのアプローチ」 申込日 月 日

貴社名			
所在地	〒 <input type="text"/> ○印をお付けください(ご自宅・お勤め先)		

いずれかの口必ずをお入れ下さい。(アーカイブ配信の追加受講をご希望の場合は、2つをお入れ下さい。)

<input type="checkbox"/> 会場受講	<input type="checkbox"/> ライブ配信	<input type="checkbox"/> アーカイブ配信	
フリカ'ナ 氏名	所属部署・役職		
TEL	() -	FAX	() -
E-mail	ブロック体でのご記入をお願いいたします。		

※複数名様お申込の場合は下記にご記入をお願いいたします

いずれかの口必ずをお入れ下さい。(アーカイブ配信の追加受講をご希望の場合は、2つをお入れ下さい。)

<input type="checkbox"/> 会場受講	<input type="checkbox"/> ライブ配信	<input type="checkbox"/> アーカイブ配信	
フリカ'ナ 氏名	所属部署・役職		
TEL	() -	FAX	() -
E-mail	ブロック体でのご記入をお願いいたします。		

※「受講証」等の送付先が上記と異なる場合は下記にご記入下さい。

通信欄	
-----	--

詳細・お申込はこちら↓ **■主催(お申込み・お問い合わせ先) 株式会社 新社会システム総合研究所**

お申込み受付 FAX 03-5532-8851

〒105-0003 東京都港区西新橋2-6-2 ザイマックス西新橋ビル4階
 Tel:03-5532-8850/E-mail:info@ssk21.co.jp/URL:https://www.ssk21.co.jp
 ※配信停止、宛先変更、個人情報の苦情及び相談・開示は上記までご連絡下さい。

26356-M

